

# 第4回周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議 議事要旨

日 時：令和2(2020)年6月9日(火) 9時45分から  
場 所：周南市役所本庁舎4階 庁議室

## 【会 議 次 第】

1 開 会

2 議 事

(1) 第2期周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）について

3 閉会

## 第4回周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議 議事要旨

日 時	令和2(2020)年6月9日(火) 9時45分から
場 所	周南市役所本庁舎4階 庁議室(Web会議にて開催)
出席者	・委員13名 江波 昭政、片山 恵子、徳田 晴宣、山田 みゆき、内山 美保、天野 隆之、 廣中 誠司、榊原 弘之、河野 拓也、乃村 克利、横道 秀彦、三浦 智香、 須田 浩史 ・事務局6名 企画部長 川口 洋司、企画部次長 末永 和宏、企画課主幹 増本 俊彦 企画担当係長 中村 成孝、主査 中村 亮太、主任 岩岡 真理子 ・関係各課担当者
資 料	・会議次第のとおり

### 会 議 議 事 録

#### 1 開 会

◇事務局 定刻となりましたので、ただ今から「第4回周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議」を開催いたします。本日はお忙しい中、ご出席をいただき誠にありがとうございます。本日の進行を務めさせていただきます企画課の中村と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

この度は、急遽、開始時刻を15分前倒しで開催させていただきました。委員の皆様におかれましては、ご協力いただきありがとうございます。

なお、本日は、東ソー株式会社の畑道規委員と、鶴本宏美委員の2名がご都合により欠席されておりますので、ご報告いたします。

それでは、早速ですがこれから議事に入ります。これ以降の進行につきましては会長にお願いしたいと存じますので、榊原会長よろしくお願いいたします。

#### 2 議事：(1) 第2期周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について

○会長 どうぞよろしくお願いいたします。先週に引き続きということですが、事務局からも説明がありましたように、本日も項目が多くて前回のペースを考えると結構厳しいペースと思われますが、皆様方からの意見はしっかりお聞きしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

では早速入りたいと思います。基本目標3「若者・女性が魅力を感じ、つなが

りが生まれるまちづくり」について事務局から説明をお願いします。

◇事務局 （基本目標3の全体の考え方について説明）

○会長 前回、子育てのお話がありましたが、今回は若者・女性ということでもう少し大人の世界になりますが、こちらの数値目標につきましてご意見がございましたらお願いします。全員が見えておりますので、挙手いただきましたら私のほうから指名いたします。

このあと推進施策4件についてご説明いただきますので、そのなかで適宜、それらが目指すところの指標等に関してご意見をいただければと思います。それでは推進施策（1）について説明をお願いします。

◇事務局 （推進施策（1）関係人口の創出・拡大について説明）

○会長 ただいまの関係人口の説明について何かございましたら、挙手をお願いします。

●委員 KPIの目標についてお伺いします。今回、関係人口が新たに出てきた言葉ですので、目標の数値、情報基盤を作ってそこへの登録が5,000人、それから中山間の団体数7団体が適正かどうか、達成可能な目標かどうかをご検討されたと思いますが、先進的に進められている市町村とか参考にされた指標があるのでしょうか、お伺いします。

◇事務局 情報基盤の登録者数5,000人については、今、これまでやってきたシティプロモーションから新しいシティプロモーションを考えるなかで、この「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目標作成時期にも重なったということです。前任者から聞いた設定理由は、新しいプロモーションが決まり、もしフェイスブックのような特設ページができたときに、その登録者数を5,000人にするというように言い方は悪いですが、抽象的に決めたような形になります。新しいプロモーションについては、ワークショップで方向性を決めていきますが、コロナの関係で安全面に配慮しながら準備を進めているところです。実は、この会議でも相談したかったのですが、この目標設定がふさわしいかどうかを、時間をいただいて考えさせていただければと思います。中山間については地域づくり推進課から説明します。

若潮の会が大津島、大潮ファンクラブが鹿野の大潮にと、今2団体ございます。関係人口というのは、地域に関わりを持っていただいて地域づくりに一緒に取り組んでいただける方、そういった方を関係人口と言いますが、なかなかこの関係人口を作るというのは、その地域に何らかの関わりがある人をターゲットに作っていく必要がありますので、すぐにできるものではございません。これから5年間で5団体、平均すると年1団体ずつとなりますが、大体こういった取組を始めて3年ぐらい、団体ができるまでかかると考えていますので、令和6年度までに5団体できればいいかなと考えています。

●委員 全体にも関わってくるのですが、一つ一つの目標とか施策、全部大事だと思うのですが、反面、それぞれの目標、施策に違和感があるというか、物足りないなど全てにおいて感じています。だからといって全てを実現不可能な目標にしたのでは、この会議自体の意義がなくなってしまうので、全体を通して考えないといけないとは思いますが、前回あった出生・子育ての件、若者の流出の件、当市にとって一番大事なことだと思います。そうすると、目標設定とか例えば予算の配分とか、全体は大事だけれども集中的に投資するというか、目標を立てることが必要ではないかと思います。各部が縦割りでそれぞれやっているとありますが、やはり横連携をしたうえで、全体それぞれが大事だけれどもここは周南市としては重点的にやるんだ、過去になかったような集中的な力を入れてやるんだ、というようなことが全体を通して言えるのではないかと思います。市長も昨年代わられて市議会議員も代わられて部長さんも代わられて、今年はチャンスの時ではないかと思っています。具体的にこの目標はどうかということではないのですが、全体的にそういった感じです。

○会長 全体的な進め方に関するご意見ということでよろしいでしょうか。

●委員 全体的には今言われたような形でよろしいと思いますが、そこに説明するほうからも、特に重要視しているというか、これは目玉なんだというところを加えていただきたいという願いです。

○会長 分かりました。そうしたことについては全体を調整される企画課のほうでも考えていただかないといけないことかもしれません。時間の関係もありますので次にまいりたいと思いますが、これからいろいろなことが決まってくるということなので、できればパブリック・コメント等を経て最終的にこの戦略が決まる頃までには、そのあたりの大きな、プロモーションの方向性も決めていただけないかと感じました。

◇事務局 欠席された委員から事前にご意見をいただいておりますので、紹介させていただきます。(1)の関係人口の創出・拡大のところでは、

「大変有効な取組であると思われる。SNSは若年層の使用率の高いLINEも考えられてはどうか。周南市のキャラクターを使用したイベントスタンプの配布などすれば友達登録者はすぐに増えると思う。」というご意見をいただいております。

○会長 LINEは有効だと思いますので、そちらの担当課におかれては考えていただければと思います。

では次の推進施策(2)について説明をお願いします。

◇事務局 (推進施策(2) 起業・創業支援の推進の③新規就農の支援について説明。再掲の①創業支援の推進、②都市型産業の立地促進については、基本目標1で説明したため省略。)

○会長 ご意見がありましたらお願いします。

●委員 今回の新規就農は若者を中心ということですが、中高年齢者の方の就農につきたいという方もいらっしゃると思うのですが、そちらのほうは今回対象にされないということでしょうか。

●委員 自分自身、認定新規就農者で5年目です。これは農業を生業として、あくまでも農業で食べていくという方に向けた制度なので、定年退職された方が趣味で半農半Xという方に向けていない制度だと思います。僕自身が農業収入で例えば225万円以上とかなり高い設定を設けているので、逆に僕は就農で5年間は国から年間150万円ぐらい補助金が出るので、5年間は贅沢をしなければやっていける制度ではあるんです。ただ、6年目からは本当に農業で食べていけないといけないという制度なので、新規就農者として認定されるのは土地と作文能力があればある程度は簡単なのですが、6年目以降本当にこの人たちが実際に農業でやっているのか、定着して地元で農業者としてやっているのかを目標にしたほうが、実際の地域の担い手だったりとか、これからの農業を担う、場合によってはそちらを目標にしたほうがいいのではないかと。新規就農者数だけをもっていくと、ちょっと現実的ではないのかなという気がしたので。いかがでしょうか。

◇事務局 最初のご質問ですが、中高年者を見てないということではなくて、国等の事業を活用しながら支援をしていくということでありまして、2件目のご意見につきましても、すごく貴重な経験のあるお話でしたので参考にさせていただきたいと思えます。

○会長 2件目の趣旨としては、新規就農の参入も大事だけど定着というか自立というか、もう少し長いスパンの評価もいるのではないかとというご趣旨だと思います。そのあたりは重要な視点だと思いますので、検討の余地があればご検討いただければと思えました。短期の参入だけでなく長期的にみるということは大事な点かと思えましたのでご検討いただければと思えます。

◇事務局 欠席委員から(2)企業創業支援の推進についてのご意見をいただいておりますので紹介させていただきます。「基本目標1との重複が多いので整理してはいいかか？」というご意見を頂戴しております。

○会長 ①、②のあたりのことだと思いますが、基本的にはこうされたのは分かりやすさということですね。たぶん、新規就農の支援だけが起業創業支援だけではないので、そういう意味で再掲されたのだと思いますが、ご意見については事務局でご検討ください。

では、推進施策(3)について説明をお願いします。

◇事務局 (推進施策(3)UJIターンの促進について説明)

○会長 ご質問ご意見よろしくをお願いします。

●委員 僕自身、中山間地域に住んでいるので、自分のなかで整理しておきたいと思っ

たのですが、まず移住世帯数の46世帯というのが、自分の感じからすると結構多いな、結構意外でした。実は須金地区にもちょっと前に移住されてきた方がいらっしゃるのですが、仕事をリタイアされてですね、高齢というと失礼ですがリタイアされたご夫婦も結構多く、そういう方の問い合わせなども最近結構多いそうなので、この46世帯の内訳として、分かれば結構ですが、現役世代なのか、リタイアした世代なのか、それによって推進施策についても違ってくるのではないかと思ってお聞きします。

◇事務局 実際に年代の把握を始めたのが平成30年度からです。それまでの移住者の方々の年代として、感覚的なところですが、5割の方が現役世代ないし40代以下だと考えております。平成30年度、令和元年度につきましては、全部で8世帯おられますが、そのうち3世帯が50代以上、残りの5世帯が20代、30代となっております、若い方々の移住の傾向にあるかと思っております。

○会長 確認ですが、これまで累積の数値ということですか。ですので、令和6年度の目標というのは、これまで全部の累積の数値で86という意味ですか。

◇事務局 そのとおりでございます。

○会長 分かりました。私のほうからこの項目で1つお伺いしたいのですが、KPIで中山間地域への移住世帯数があるのですが、中心市街地であるとか、そういった中山間以外のところにこういった目標がなくていいのかということです。このあと出るとは思いますが、立地適正化計画とか作られているので、市街地の人口の保持というのも大事だと思うのですが、そのあたりはいかがですか。

◇事務局 今これは中山間地域のみ移住ということでUJIターンの促進を進めておりますが、周南市はもちろん中心市街地も街なかのにぎわいというものも取組を進めておりますので、そのあたりも含め、市全体での移住についても今後考えていくことになるかと思えます。

○会長 具体的な取組の空き家バンクとかは全市的なお話になるのかと思ったのですが違うのですかね。中山間地域だけのお話だったのでしょうか。

◇事務局 空き家バンクにつきましては、ほぼ中山間地域の空き家を登録しているところです。街なかも少しありますが、基本的には中山間地域の施策でございます。

○会長 個人的な意見になりますが、この推進施策の項目立てがUJIターンなので、もちろん中山間地域に来ていただいて地域を活性化するというのももちろん大事で、一方で、そういった中心市街地であれ居住誘導区域とか、そういうところにも当然空き家の問題もあるはずなので、そういったところも考えてもいいのかと思いました。

◇事務局 欠席委員のUJIターンの促進に関するご意見を紹介します。「前回の会議でも意見が出ていたが、コロナ禍で生まれた市民の意識の転換を活かす観点で見直しをされてはいかがでしょうか。また、空き家問題は、治安・安全・美観の観点から

も今後より大きな問題となると懸念されるので、もっと踏み込んだ対策を考えるべきではないか。」というご意見をいただいております。

○会長　私がさっき言ったのは一つに今のご意見と関係するかもしれませんが、空き家はたぶん中山間地域だけでなく市街地も結構深刻だと思うんですよ。なので、推進施策とKPIが微妙にずれているように思えたので申しました。

それでは次の推進施策（４）について説明をお願いします。

◇事務局（推進施策（４）高等教育機関等との連携について説明）

○会長　ご質問ご意見よろしく申し上げます。

●委員（発言あるも通信環境不良により声が聞こえず、後日、他の方々も含め、発言できなかった意見を提出していただく機会を設けることにした。）

○会長　私からよろしいですか。KPIですけど、市内就職率はCOCのときからずっと求めている数字で、実際、非常に難しいのですが、例えば、これまでCOCなど実施されたなかでどのくらい効果が、つまり、市内定着率の上昇とかがどの程度であったのかとか、なかなかCOCの施策だけでは難しい面はあったかと思いますが、我々も当事者だったので分かるのですが、これまでやってこられてきたことがどのくらい定着率の向上に寄与したか、そのあたりはいかが評価されていますか。

◇事務局　市内定着率の数字ですけれども、当初が14%で毎年14～15%台で推移し、最終年度も15%で終わっている状態です。なかなかこの取組が市内の定着率に寄与したかを図るのは現時点では難しいとは思っています。そういうこともあって、前回の21%を目標に掲げて、もう5年間様子を見させていただこうと思って指標を設定したところです。

○会長　事情というか状況は自分も大学なので重々承知しているのですが、国がこのあたりを強く求めているところであり、やはり必要だとは思っています。個人的な意見を申し上げますと、なかなかそう簡単に学生を地域に縛りつけることはできなくて、先程のプロモーションだとかUJIターンみたいなことと一体で、一旦学生さんが外に出たとしても周南に対していい印象を持って卒業してもらって、例えば5年・10年後にまたこの地域に戻ってもらうとか。国が短期的なことを言っているのしょうがない面もあると思いますが、実際、少しそういった腰を据えたやり方でないと、卒業した途端学生さんを地域にとどめおくみたいなことは難しいと思っています。ただ、個別の施策がいらぬと言っているわけではなく重要ですけども、なかなかこのKPIというのは難しいなど、個人的意見としては周南市に限らず思っています。

●委員　個人的な意見になりますが、徳山大学の公立化に関して、先日も看護学科ができるということで地元の働き手とか医業従事者が増えるということは良いことだと思います。自分が移住者として感じているのが、うちに残ってほしい、周南市



に残ってほしいというような大学を作るといのは、これからの国際化とか大事になってくるなかで、そういうカラーで学生を集めるというのがすごく難しいのではないかと考えています。特に地方の大学で、うちも年ごろの子どもがいるのでこれから子どもの進路を考えるのですが、地方の大学で人気があるところって、アジア太平洋立命館大学とか、秋田にある国際教養大学とかって、すごくグローバルに物事をとらえてそういう学生を作っていこうと。今度、広島県の県立大学もそういうふうになるということを知ったのですが。ローカル色を出すのも良いのですが、やっぱりこれからのニーズを考えると、そういう国際的に活躍できる人材を地方で育てて、その人たちが周南のことを好きになってもらって世界にPRできるような、そこまでできる大学になると本当にいいかなと。それと学費を安くして誰でも入れて、今まで大学に行けなかった層の人たちも大学、高等教育が受けさせてもらえるような、結構大きな改革をしたほうが良いのではないかと考えています。

○会長      もちろん高等教育機関との連携は重要だと思っていますが、やはり徳山大学であるとか徳山高専にいる学生さんたちが、在学中からいろんなかたちでまちづくりに関わってもらえるような仕掛けは大事だと思っています。そのあたり、おそらくここに書かれているPBLも大事だと思っていますが、そういった施策はぜひ続けていただきたいと思っています。

それでは、ここで5分休憩いたします。

～5分間休憩～

○会長      皆さんお揃いになりましたので再開したいと思います。それでは、基本目標4と推進施策（1）を一括で説明をお願いします。

◇事務局      （基本目標4の全体の考え方について説明）

（推進施策（1）中心市街地における賑わいの創出について説明）

○会長      基本目標および中心市街地の関係について、ご意見・ご質問をお願いします。

●委員      まちなかの歩行者等通行量については、どの時間帯の通行量を指すのかを教えてください。

◇事務局      平日の朝10時から夜19時までの歩行者等通行量です。

●委員      少し思ったのが、観光交流の推進などで夜型の観光を展開していくという施策があったり、徳山駅前図書館が22時までの営業になったということで、賑わいというのがそもそも平日の昼間をターゲットとして賑わいとするのか、徳山のストロングポイントである夜の街、ナイトスポットに関する強みを活かせば良いのかなと思います。徳山駅前図書館が22時まで運用されたことで夜の人口がどのくらい増えたのか知りたいなと思ったので質問をさせていただきました。

◇事務局      歩行者等通行量の測定方法についても今後必要に応じて検討させていただきます。

○会長　これは方法論ですが、最近ビッグデータ系の活用も増えています。今回コロナの関係でも出ていましたが。事務局も色々ご存じだと思うので、センシングの技術なども最近街なか回遊の把握などに使われていると思うので、そのあたりも検討いただくと良いのかなと思いました。

それでは、推進施策（２）と推進施策（３）をあわせてご説明をお願いします。

◇事務局　（推進施策（２）観光交流の推進について説明）

（推進施策（３）スポーツ交流の推進について説明）

○会長　こちらについて、ご意見・ご質問がありましたらお願いします。

●委員　２点ありますが、１点目がK P Iの目標について、とても意欲的といいますか当市の強みを盛り込んだ目標になっていると思いました。全体を通しての目標設定よりも前向きな目標が掲げられており賛成です。それと、（２）と（３）を一緒に説明していただきましたが、当市の強みとして観光も推進していかなければいけません。スポーツや文化面の施設が充実しているところが今まで活かされてきたと思います。しかし、宿泊施設が無いということで多くの宿泊客を断ってきた経緯もありますが、今後５年間を見通したときに、受入体制もできてくるのではないかと思います。だからこそ高い目標を掲げて推進していくべきだと思います。しかし、小郡地区の開発等も進んでおりまして、都市間競争も激しくなるなかでこれを達成していくためには、P F Iも手法としてとても良いと思いますが、個人的な意見として、例えば体育協会やコンベンション協会、文化振興財団などありますが、そういったところに市の職員を配属し、市には部長や課長などの意思決定機関を残して人員を投入する。また、老朽化した施設への集中的な投資が５年後・１０年後を考えたときに必要であると思います。

◇事務局　職員の派遣等について、いただいた意見を関係部署に共有し、検討してまいりたいと思います。

●委員　現在コロナの関係があるので、大規模大会とか甲子園等も中止になりましたし、大規模なスポーツの交流が難しくなるのではないかと思います。こういった面も踏まえないといけないと思いますし、対策等も掲げていかないといけないと思いますが、そうすると目標値が高すぎると思います。

○会長　その点は議論をしないといけない点だと思っていました。コロナの情勢を踏まえた見直しだと思いますが、事務局いかがですか。

◇事務局　おっしゃるとおり、コロナの関係もありまして今まで通りのような大規模大会の運営という訳にはいかないと思いますので、大会主催者や体育協会等とも協議しながら今後の大規模大会の誘致やイベントの開催等について、またK P Iについても検討してまいりたいと思います。

欠席された委員から（２）観光交流の推進について事前にご意見をいただいておりますので紹介させていただきます。

「観光の目玉となる資源が少ない周南市にあって動物園の魅力向上は大切です。基本目標3で、高等教育機関との連携がうたわれていますが、情報系アート系機関との連携で、大人も足を運べるような企画が出来ないでしょうか。」とのご意見です。

○会長 先程のコロナの件は、コロナがあるから観光はしなくて良いということはないと思いますが、コンベンションがなくなってしまうということも無いと思いますが、やはり若干文書として言及は必要ではないかと思います。いわゆるウィズコロナのなかで、少なくとも数年間は共存が迫られると思うので、共存していくなかで観光やコンベンション、経済を何とか回していくというのが日本全体のテーマだと思うのですが、少なくとも言及はいるのかなという気がしました。

また、動物園の話で、宇部市とかもコラボなどをしてはいますが、動物園もリニューアルして面白くなっているというのは聞きますが、そういうものの活用は大事で、コロナの話と絡めて申しますと、観光も年内はまず県内の方に来てもらうというところからだと思います。いきなりインバウンドというのも難しいわけで、周南の方に来てもらって、山口県内の方に来てもらう。まず、近隣の方に徳山動物園などの魅力を知ってもらうところからスタートするのではないかという気がするので、短期の話かもしれませんがウィズコロナの視点は入れない訳にはいかないのかなという気がしています。

●委員 確かにウィズコロナについては短期的、中期的に言及することは必要だと思います。ただ、本市の将来を考えたときに大きな目標を掲げていただきたいと思っています。

○会長 数値については精査いただくとして、共存というところはあった方が良いのかなと思います。おそらくパブリック・コメントとかでも市民の方からご意見は出る気がします。

基本目標5にまいりたいと思います。「時代に対応した、持続可能なまちづくり」ということで、こちらも、基本目標と推進施策の(1)を合わせて説明をお願いします。

◇事務局 (基本目標5の全体の考え方について説明)

(推進施策(1) Society5.0の実現に向けたまちづくりについて説明)

○会長 こちらの基本目標5と推進施策(1) Society5.0の実現に向けたまちづくりについて、ご意見ご質問がございましたらよろしくをお願いします。

○会長 私から(1)のほうですが、K P Iの2つ目と3つ目は行政の中の行政サービスにいろいろICTを入れるというお話だと思うのですが、やっぱりICTの場合、Society5.0とかは行政だけで当然進むものでなくて、行政の外も巻き込んだ取組はスマートシティ構想に全部入ってくるということですか。K P Iの設定としては。

◇事務局 民間の取組も含めてスマートシティ構想の中に記載したいと思っています。行政だけでスマートシティを実現するのではなくて、民間や企業、団体もそうですが、一般の市民の方も含めてそうしたスマートシティ、ICTを活用した暮らし、そうしたものを浸透させていくことがスマートシティだと考えておりますので、民間の取組を含めたすべての分野においてスマートシティを進めていくということになります。

○会長 もう1点ですが、このあたりこそ高等教育機関との連携も重要ではないかと思うのですが、そのあたりはいかがですか。

◇事務局 全国の他の都市の事例をみますと、高等教育機関、大学とかそうした機関との連携をされている、研究を進められている取組も多くございますので、本市におきましても、もちろん案件によって異なってくると思いますが、高等教育機関との連携も考えています。

●委員 高齢化社会が進んでいるなかでこれを進めていった場合、お年寄りがついてこれないと思うのですが、そういった方々への配慮はどのようにされるのでしょうか。

◇事務局 今はスマートフォンもかなり普及してきましたけど、高齢者の方々もなかなかすぐに全ての方々が活用できているとは思っておりません。しかしながら、だんだんと皆さんもスマートフォンに適應されていく状況もありますので、この取組は取組として着実に進めていきますけれども、それに対応できない方のサポートも同時に進めていかなければならないと考えています。

●委員 できれば高齢者の方々も使われたい方もいらっしゃると思います。持っていて宝の持ち腐れではないのですが、使えなくて困っている方もいらっしゃいますので、そういった方々へのサービスというか教えていただける場が持てたらいいなと思います。

○会長 おそらくそうしたスマートシティの構想を作られたりするということなので、そのなかでそういったデジタルデバインドみたいなお話も考えていただきたいと思っています。

それでは、次の(2)をよろしく申し上げます。

◇事務局 (推進施策(2)コンパクト・プラス・ネットワークの推進の①コンパクトシティの推進について説明)

○会長 こちらのコンパクトシティの推進のお話ですが、何かご意見ご質問がございましたらよろしく申し上げます。

●委員 KPIについてお伺いします。今まで1期のところでは中心市街地の居住人口でありましたが、今回、人口密度に変えられていますが、同じようなものだとは思いますが、どのような理由で変えられたのでしょうか。

◇事務局 前回、総合戦略が策定された平成27年度の頃は平成25年度に中心市街地活

性化基本計画の認定を受けておりました、これに基づいた事業を推進していた時期でございました。ですので、中心市街地の居住人口を指標としていたのですが、そのあと周南市立地適正化計画を策定し、人口減少社会においても暮らしやすい都市構想を構築するためにコンパクト・プラス・ネットワークを推進していくことを示しております。今回の基本目標「時代に対応した、持続可能なまちづくり」というのは、この策定した周南市立地適正化計画の中の考え方と同一の考え方でございまして、周南市立地適正化計画のなかで目標値の一つとしております居住促進区域内人口密度を指標として変更させていただきました。

○会長      ちょっと確認ですが、この居住促進区域というのはいわゆる居住誘導区域ですか。居住誘導区域とは違う区域を設定されているのですか、周南市では。

◇事務局      いわゆる居住誘導区域と同じものです。

○会長      居住誘導区域を周南市立地適正化計画ではそう呼んでいるということですか。

◇事務局      はい、そういうことです。

○会長      そのほか何かございませんか。私からよろしいでしょうか。②の公共交通の話で、これは今回の法改正とかを踏まえた記述になっていると思うのですが、2番目の既存「輸送資源」というのは具体的にどういうものをイメージされていますか。

◇事務局      計画で掲げている既存「輸送資源」でございしますが、想定しているのは既存の移動手段として既に活用している、例えばスクールバスであったり、あるいは民間事業者がやっていらっしゃるタクシー、または民間の送迎サービス、そういったあらゆる移動手段を有効活用したネットワークの形成といったものをイメージしております。

○会長      たぶん、今回法律改正でもそういう話がいろいろ出ていたと思うので、その方向性ということで理解しました。皆様のほうでこの項目で何かございしますか。

●委員      須金地区でも昨年、防長の路線が廃止されてここ1年ぐらい地域交通を移動手段として皆さん利用していますけど、ちょっと正直、利用しづらい部分とかがあって、例えば朝と夜ですね、通学それから帰る便が若干使づらいという声が地域から上がっています。そのあたりを地域住民も含めて使いやすいような便に、なかなか難しいとは思いますが進めていっていただければと思います。

あと、ご専門の方のご意見を伺いたいのですが、例えばウーバーとかですね、今日本で解禁されたりとかするような可能性はどうでしょうか。特に中山間地域ではこれがあるとすごく便利で、実際おじいちゃんとかおばあちゃんとかを乗せて隣に行ったりする人もいるような現状で、これって実際どうなんでしょうか。

○会長      後半のところは私でも若干コメントできる箇所はあるかもしれませんが、前半の部分については事務局からお答えをお願いいたします。

◇事務局      前半の須金地域の移動手段の検討ということで、朝と夜の良い時間帯の便がな

いということをごぎいます。そうした地域のニーズもしっかり聞きながら、やはり運行の担い手、運行事業者ともしっかりと協議を進めながら、なるべく利用される方のご要望に沿うような形での協議・調整を今後引き続き進めていきたいと考えています。

○会長 ライドシェアですね、ウーバーなんかですけど。壁はやっぱり2種免許の制度だと思えます。そこがなかなか難しい面があります。もちろんいろいろ事情はありますが。ただし山口県みたいな地方で、今後、ウーバー、ライドシェアがいいかは別にして考えないといけないのは、周南市の山間部がどうかは分かりませんが、たぶんタクシー事業者さんが高齢になられて廃業されるケースがでてきていて、県内でもタクシーがない、タクシーが空白の地域が出てきています。そうした地域の移動手段となりますと、ライドシェアと呼ぶか日本の制度でいうと自家用有償運送というのがありますけど、そういったかたちはいろいろ県内でもやられていると思います。今言った空白というのが、本当にもうずっとタクシーがない地域もあるんですね。もう一つは、周南市さんは分かりませんが山口あたりですとタクシー会社が深夜は営業してないというのがかなり出てきています。それはどちらかという働き方改革みたいな流れですが、そういう昔みたいにタクシーが当たり前と呼べるとかいう状況でもなくなってきているので、おそらく周南市でも似たような問題が起こっているのではないかと考えているのですが、そのあたりは考えていかないといけないと思います。たぶん今回、事務局が記述しているのは、通常国会でつい最近成立した新しい法律がありまして、それで新しい手段ができるよ、みたいなことになっているので、そのあたりを意識されたのだろうという私の想像、個人的な見解です。

では、次の(3)(4)についてあわせて説明よろしくお願ひします。

◇事務局 (推進施策(3) 中山間地域の持続可能な生活圏づくりについて説明)  
(推進施策(4) 多様な主体による地域づくりの推進について説明)

○会長 (3)(4)についてご意見ございましたらよろしくお願ひいたします。

◇事務局 それでは欠席された委員からの意見をご紹介します。まず。(3) 中山間地域の持続可能な生活圏づくりについてです。

「三丘に住んでいると、公共交通ネットワークの不足を切実に感じる。朝晩子どもの送迎に追われ、ワーキングマザーの社会復帰の足かせともなっている。ぜひ中高生の通学時間の公共交通ネットワークの整備を実現してほしい。特に、駅のない地域では、駅までのバス等のネットワークは必須である。」

続いて(4) 多様な主体による地域づくりの推進についてです。

「行政の役割の明確化が必要。そして、地域活動の基地となる市民センターがWi-Fi化すらされていないのは悲しすぎる。現状、自前のポケットWi-Fiを持ち込むか、Wi-Fiのある民間の会場へ移動して活動している。」

以上のご意見をいただいております。

○会長　私は周南市の交通には直接関与してないのですが、特にそういった中高生の通学の話はよくあります。今、公共交通に関しては、一方でやはりコロナの前から運転手不足はかなり深刻になっていまして、おそらく周南においてもバスのネットワークが減っているのはそのあたりの事情があったのではないかと想像しています。物理的に人がいないという状況が起こっていて、運転手自身も高齢化して平均年齢も60代になったりとか、そういう状況にあたりするので、今までのネットワークを維持することもかなり難しい状況にあると思います。

あと後半の話は、私は周南市の事情をあまり把握してなかったもので、それはごもっともなご意見かなと思いました。事務局でそれぞれについて何かありますか。

◇事務局　先程会長からご説明があったとおりでございまして、周南市における運行の担い手は非常に減少している状況でございまして、先程ご説明しましたが、既存の輸送資源、スクールバスであったりとか、そういったこれまでとは違う輸送資源を活用して、今回の事例のような方の移動手段の確保ができないかということにつきまして、今後検討してまいりたいと思います。

◇事務局　続きましてWi-Fiの関係ですが、まちなかの市民センターの中にはWi-Fi環境がある施設もございまして、中山間地域を中心にWi-Fiという環境は今のところはございません。これからの時代、Wi-Fiはある意味必要なものかと認識しておりまして、地域住民の希望とかを聞きながらできれば整備していきたいと思います。

○会長　先週の会議の教育委員会のところでも、ギガスクールとかそのあたりの話がありました。コロナのこともあってかなり需要が高まっていると感じるので、もし可能であれば非常に良いのではないかと思います。

では皆様、大変お疲れ様でした。これですべての事項が終了となりましたが、全体を通してのご意見ご提案がありましたらお願いいたします。

本日は、意見を言うのに若干支障があったと思うので、ご意見がありましたら事務局のほうでいろいろと受け付けていただけますか。よろしく申し上げます。

事務局から連絡事項がございまして。

◇事務局　皆様、先日の会議に引き続きまして長時間の協議お疲れ様でした。今後の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に向けてのスケジュールを少しご紹介させていただきます。第2回の会議で文書協議させていただいた第1期の評価や、前回そして本日の会議でいただいたご意見などを基に、今後、第2期総合戦略の案を作らせていただきまして、8月を目途にパブリック・コメントをさせていただく予定にしております。そのパブリック・コメントや議会のご意見などを基に最終的な案を作成し、9月末の総合戦略の完成を目指しております。最終案

につきましては、皆様にメールや郵送などによりご報告させていただきたいと思っております、それをもちまして第5回の戦略会議にかえさせていただければと考えております。

また本日、こちらの通信環境が少し悪くてご意見をいただけなかったこともありますので、本日の会議で言い洩らしたことがございましたら、今週末、6月12日金曜日までにメールや郵送、FAX何でも結構ですのご連絡いただければと思います。事務局からは以上です。

○会長 何かご意見がございますか。よろしいですか。

それでは、これですべての議事を終了いたしました。本日は長時間、大変お疲れ様でした。前回、比較的うまくいきましたが、今日は若干トラブルが多く難しいところがございますが、委員の皆様からご意見をいただきましたおかげで会議を成立させることができました。ありがとうございます。それでは、進行を事務局にお返しいたします。

◇事務局 皆さん、長時間大変お疲れ様でした。終わりになりますが企画部長の川口よりご挨拶を申し上げます。

◇企画部長 皆様、本日は大変お疲れ様でした。委員の皆様には、お忙しい中、また不慣れたWeb会議の中、2日にわたりご審議いただき、ありがとうございます。また、榊原会長におかれましては、本当にWebの環境の悪い中、限られた時間のなかで、円滑に進行していただき感謝申し上げます。おかげさまで、多くの貴重なご意見をいただくことができました。皆様からいただきましたご意見やご提案につきましては、次期総合戦略にしっかりと反映し、基本目標の達成に向けて施策を推進してまいりたいと存じますので、引き続き、ご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。まもなく梅雨入りを迎え、蒸し暑い日が続きそうですが、委員の皆様のご健勝を祈念いたしましてお礼の挨拶といたします。本日は誠にありがとうございます。

### 3 閉会

◇事務局 以上をもちまして、第4回まち・ひと・しごと創生戦略会議を終了いたします。本日はありがとうございます。